

単元デザイン FIRST STEP —小学校社会科—

1 単元デザインは何のため？

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとめの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、単元の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 単元をデザインする際のポイント

単元をデザインする際のポイントを押さえているか□に✓を付けて確認しましょう。

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定します。

- 学習指導要領の目標や内容、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編(以下、学習指導要領解説)を踏まえている。
- 児童の実態や前単元までの学習状況を踏まえている。

② 単元の評価規準を作成します。

- 国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」(以下、「参考資料」)の巻末資料(p.77~)に示された「内容のまとめごとの評価規準(例)」を参考にして、学習指導要領に示されている「内容」の記述形式を基に作成している。

③ 問題解決的な学習過程で単元をデザインし、指導と評価の計画を作成します。

- 「課題把握→課題追究→課題解決」の流れで単元をデザインし、各時間の評価を行う観点及び評価する方法を決めている。
- 単元の指導と評価の計画に、[指導に生かす評価]と[記録に残す評価]の場面を設定している。

④ 児童が興味をもつように教材を工夫し、学習問題につながる資料を準備して、単元の学習問題を設定します。

- 学習指導要領の内容を踏まえた上で、児童が興味をもつように身近なことを題材に挙げ、児童と学習内容を結び付ける教材の工夫をしている。
- 具体的な事実から気付きや疑問が生まれ、学習問題の設定につながる資料を準備している。
- 目標を踏まえた単元の学習のまとめを想定して、単元の学習問題をつくっている。

⑤ 目標の実現に迫るための毎時間の学習活動を構想します。

- 何のために「調べる」「話し合う」「まとめる」のかを明確にして、毎時間の学習活動を構想している。

上記の5つのポイントには、順番の決まりはありません。

相互に関連付けながら、行ったり来たりして単元をデザインしていきます。

上記のポイントを踏まえた、単元デザインの具体(例)を次に示します。



単元デザインの具体（第6学年「今日の生活文化につながる室町文化」の単元を例に）

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定します。

学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説と照らし合わせながら、児童の実態や前単元までの学習状況を踏まえ、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にして、単元の目標を設定します。

【具体例】「今日の生活文化につながる室町文化」の単元

学習指導要領解説の内容(第6学年)

- (2) ア(オ) 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学習指導要領解説 p.115

単元の目標

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、図や文にまとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

② 単元の評価規準を作成します。

「参考資料」の巻末資料(p.77~)に示された「内容のまとめごとの評価規準(例)」を参考にして、学習指導要領に示されている「内容」の記述形式を基に作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問い合わせたり、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。 ②京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。	①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」の評価規準は、他の単元で設定します。

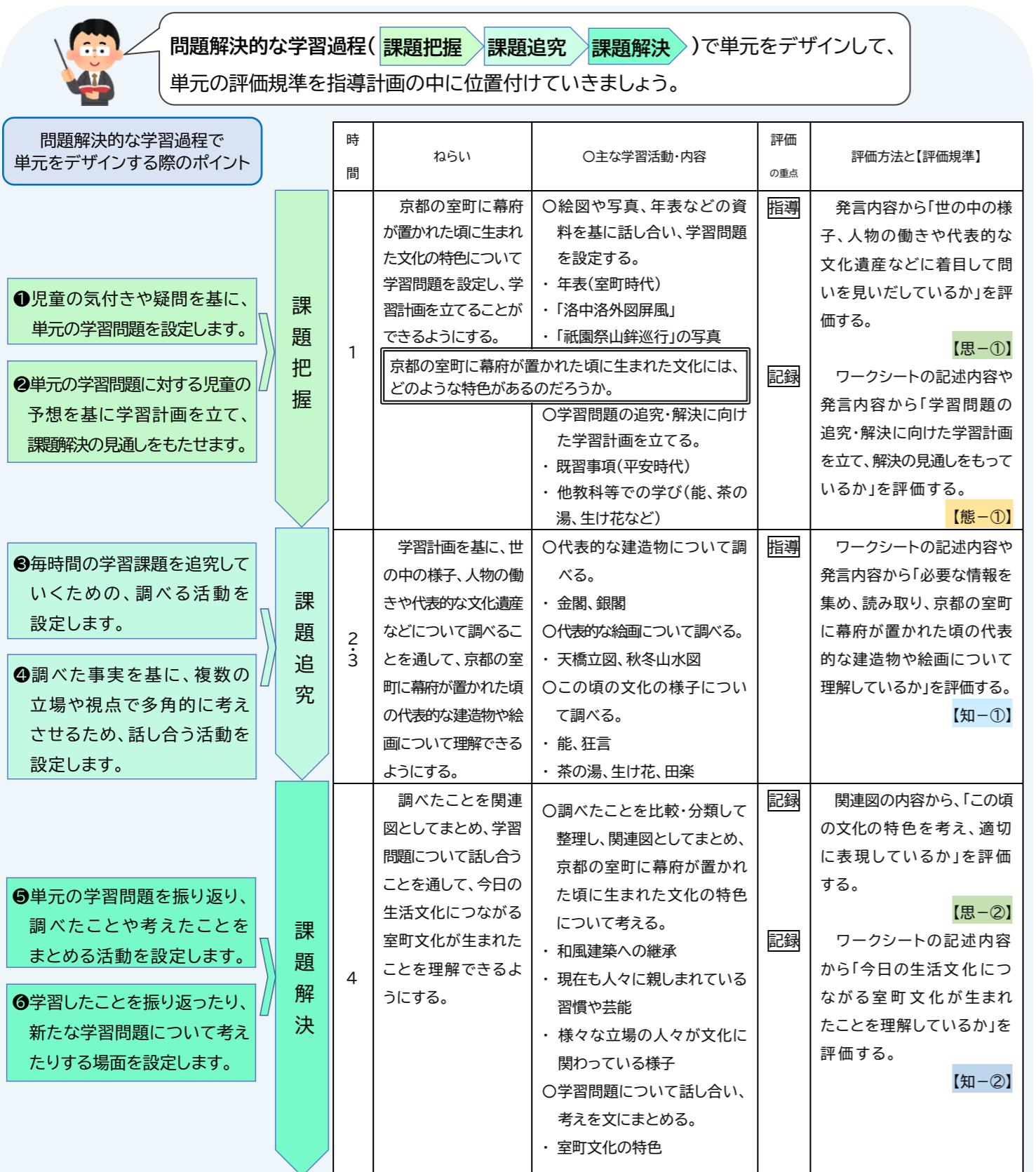
詳細は、佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」及び「[学習評価 FIRST STEP](#)」を御参照ください。

③ 問題解決的な学習過程で単元をデザインし、指導と評価の計画を作成します。

「課題把握→課題追究→課題解決」の流れで単元をデザインし、各時間の評価を行う観点及び評価する方法を決め、

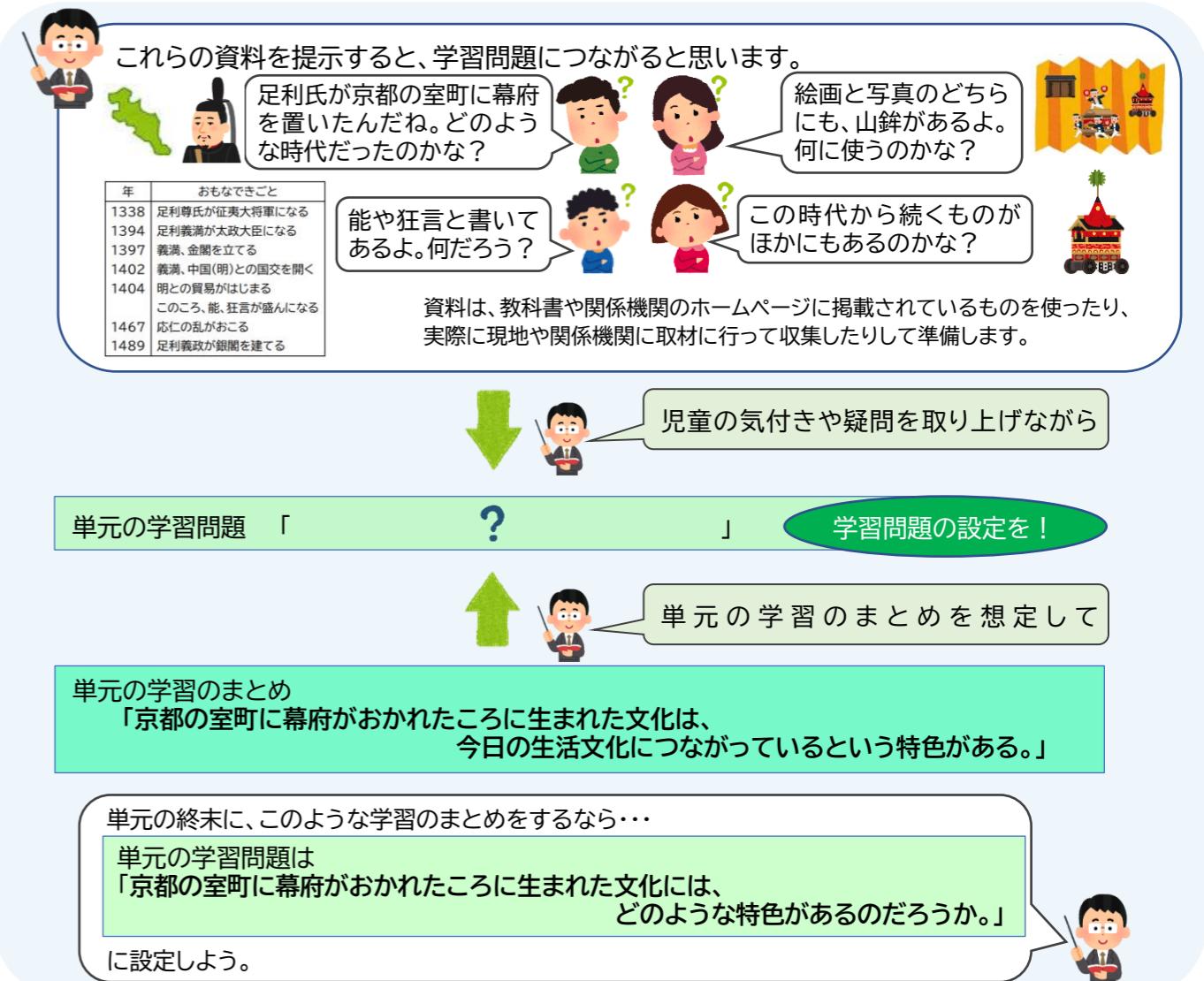
〔指導に生かす評価〕と〔記録に残す評価〕の場面を計画します。

指導と評価の計画(例)



④ 児童が興味をもつように教材を工夫し、学習問題につながる資料を準備して、単元の学習問題を設定します。

学習指導要領の内容を踏まえた上で、児童が興味をもつように身近なことを題材に挙げ、児童と学習内容を結び付ける教材の工夫をし、具体的な事実から気付きや疑問が生まれ、学習問題の設定につながる資料を準備します。目標を踏まえた単元の学習のまとめを想定して、単元の学習問題をつくります。



⑤ 目標の実現に迫るための毎時間の学習活動を構想します。

何のために「調べる」「話し合う」「まとめる」のかを明確にして、毎時間の学習活動を構想します。

学習問題を設定したら、目的を明確にした児童の学習活動を構想します。

調べる:学習問題の解決に必要な情報を集めるために、観察や見学、聞き取りなどの調査活動・地図帳や地球儀、統計や年表などの基礎的資料などで調べる活動を設定します。

・金閣や銀閣について調べる。
・水墨画について調べる。
・能、茶の湯、生け花、田楽について調べる。など…

話し合う:複数の立場から多角的に考えたり、これからの社会について考えたり選択・判断したりするために、児童同士・教師と児童・ゲストティーチャーなどの外部の人・歴史上の人物や先人との対話的な活動(論理的な説明・立場や根拠を明確にした議論など)を設定します。

・関連図としてまとめ、この頃の文化の特色について考える。など…

まとめる:児童がなぜその方法でまとめるのかという目的や必然性を意識して、学習したことについての理解や思考を整理するために、調べたこと・分かったこと・考えたことなどを文章・白地図・年表・図表などにまとめる活動を設定します。

・学んだことを振り返り、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことについて自分の考えを文にまとめる。など…

表中の「評価方法と【評価規準】」の詳細は、佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」及び「学習評価 FIRST STEP」を御参考ください。

学習評価 FIRST STEP —小学校社会科—

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、児童の資質・能力を育成することです。児童の学習状況を適切に見取り、児童の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



2 学習評価の機能

○指導に生かす評価

児童一人一人の学習状況を把握し、児童の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

※【指導に生かす評価】の場面は、随時存在します。児童の学習改善や教師の指導改善のために、児童の学習状況を把握し、「おおむね満足できる」状況(B)以上になることを目指して、日々の授業の中で必要な指導を適宜行います。

○記録に残す評価

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

※毎回の授業において、【記録に残す評価】を行う必要はありません。児童全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元のまとめの中で、評価規準に照らして、児童の観点別学習状況を把握し、記録します。

3 学習評価の観点及びその趣旨

育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。

知識・技能

地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しているとともに、様々な資料や調査活動を通して、情報を適切に調べまとめている。

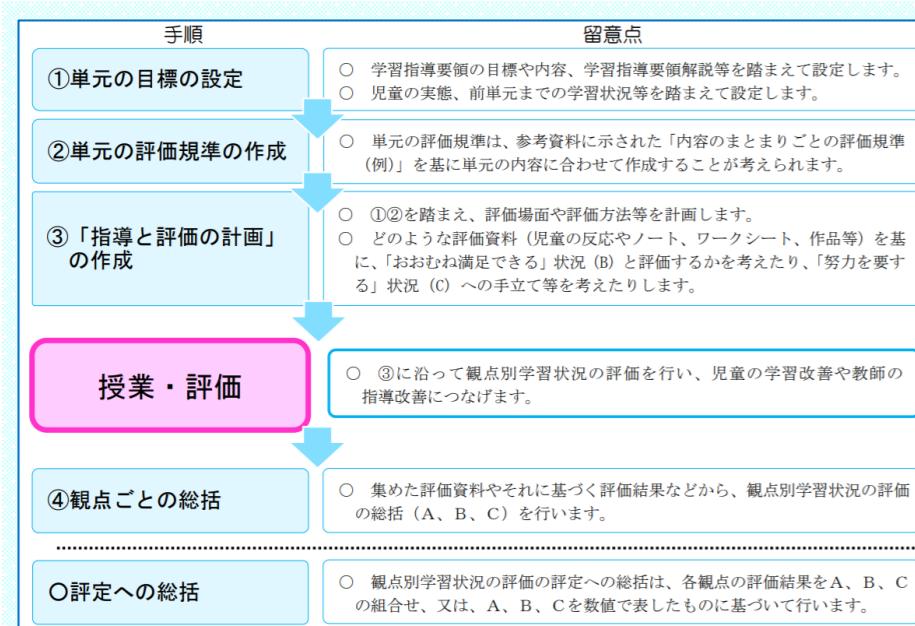
思考・判断・表現

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりしている。

主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとしている。

4 小学校社会科における学習評価の進め方



単元における観点別学習状況の評価の進め方(手順)は、基本的に左に示した流れになります。

では、実際に①②③までの手順を具体的に見ていきましょう！



佐賀県教育センターWeb
「学習評価の進め方」より

学習評価の進め方の具体（第6学年「今日の生活文化につながる室町文化」の単元を例に）

① 単元の目標の設定

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、図や文にまとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態や前単元までの学習状況等を踏まえて設定します。



② 単元の評価規準の作成

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問い合わせをして、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。	①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを図や文にまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。	②「よりよい社会を考え学習したこと」を社会生活に生かすとする態度の評価規準は、他の単元で設定します。	②「よりよい社会を考え学習したこと」を社会生活に生かすとする態度の評価規準は、他の単元で設定します。

単元の評価規準は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の巻末資料(p.77~)に示された「内容のまとめごとの評価規準(例)」を参考にして、学習指導要領に示されている「内容」の記述形式を基に作成します。

・下線部は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(p.36~)単元の評価規準作成のポイントより

③ 「指導と評価の計画」の作成

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	評価の重点	評価方法と【評価規準】
1	京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について、学習問題を設定し、学習計画を立てることができるようする。	○絵画や写真、年表などの資料を基に話し合い、学習問題を設定する。 ・年表(室町時代) ・「洛中洛外図屏風」「祇園祭山鉾巡行」の写真	指導	発言内容から「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問い合わせをしているか」を評価する。
		○学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てた。 ・既習事項(平安時代) ・他教科等での学び(能、茶の湯、生け花など)	記録	【思-①】 ワークシートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。
2・3	学習計画を基に、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて調べることを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解できるようする。	○代表的な建造物について調べる。 ・金閣、銀閣 ○代表的な絵画について調べる。 ・天橋立図、秋山山水図 ○この頃の文化の様子について調べる。 ・能、狂言 ・茶の湯、生け花、田楽	指導	ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解しているか」を評価する。
		○調べたことを比較・分類して整理し、関連図としてまとめて、京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について考える。 ・和風建築への継承 ・現在も人々に親しまれている習慣や芸能 ・様々な立場の人々が文化に関わっている様子 ○学習問題について話し合い、考えを文にまとめる。 ・室町文化の特色	記録	【知-①】 関連図の内容から、「この頃の文化の特色を考え、適切に表現しているか」を評価する。
4		○調べたことを比較・分類して整理し、関連図としてまとめて、京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について考える。 ・和風建築への継承 ・現在も人々に親しまれている習慣や芸能 ・様々な立場の人々が文化に関わっている様子 ○学習問題について話し合い、考えを文にまとめる。 ・室町文化の特色	記録	【思-②】 ワークシートの記述内容から「今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解しているか」を評価する。

①②を踏まえ、単元を設計し、各時間の評価を行なう観点及び評価する場面を決め、【指導に生かす評価】と【記録に残す評価】を計画します。

第1時は、2つの観点のどちらか1つを重点的に評価するなど、1単位時間内で全員の学習状況を見取ることができるよう、無理のない計画を立てます。

第2時及び第3時は、【記録に残す評価】は行いませんが、毎時間のねらいに即して児童の活動の状況を把握し、【指導に生かす評価】を行います。

【記録に残す評価】は、単元の目標に沿って指導した結果が表れる場面が考えられます。本単元では、評価資料を集めて評価する場面を、単元の終末に設定しています。

各観点における【評価方法】は以下の方法が考えられます。

「知識・技能」…ノートや見学カードの記述内容、ペーパーテストなど

「思考・判断・表現」…ノートの記述内容、発言の内容、ペーパーテストなど

「主体的に学習に取り組む態度」…活動の様子、発言の内容、振り返りの記述内容など

学習評価の詳細については、佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」を御参照ください。



「学習評価の進め方」

学習指導プラン

小学校社会科第6学年 単元名 今日の生活文化につながる室町文化

内容のまとめ
〔第6学年〕
(2)「我が国の歴史上の主な事象」

1 本単元で扱う学習指導要領の内容

第6学年 (2)「我が国の歴史上の主な事象」

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大きな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(オ) 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

2 単元の目標

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、図や文にまとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。</p> <p>②調べたことを図や文にまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問い合わせを見いだし、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。</p> <p>②京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。</p>	<p>①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②「よりよい社会を考え学習したこととを社会生活に生かそうとする態度」の評価規準は、他の単元で設定します。</p>

4 指導と評価の計画（全4時間）

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	評価の重点	評価方法と【評価規準】
1	京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について学習問題を設定し、学習計画を立てることができるようとする。	○絵画や写真、年表などの資料を基に話し合い、学習問題を設定する。 ・年表(室町時代) ・「洛中洛外図屏風」 ・「祇園祭山鉾巡行」の写真	指導 記録	発言内容から「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問い合わせをしているか」を評価する。 【思-①】 ワークシートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】
2・3	学習計画を基に、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて調べることを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解できるようとする。	○代表的な建造物について調べる。 ・金閣、銀閣 ○代表的な絵画について調べる。 ・天橋立図、秋冬山水図 ○この頃の文化の様子について調べる。 ・能、狂言 ・茶の湯、生け花、田楽	指導	ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解しているか」を評価する。 【知-①】
4	調べたことを関連図としてまとめ、学習問題について話し合うことを通して、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようとする。	○調べたことを比較・分類して整理し、関連図としてまとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について考える。 ・和風建築への継承 ・現在も人々に親しまれている習慣や芸能 ・様々な立場の人が文化に関わっている様子 ○学習問題について話し合い、考えを文にまとめる。 ・室町文化の特色	記録 記録	関連図の内容から「この頃の文化の特色を考え、適切に表現しているか」を評価する。 【思-②】 ワークシートの記述内容から「今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解しているか」を評価する。 【知-②】

5 1時について（1／4）

(1) 1時の目標

京都の室町に幕府が置かれた頃の文化の特色について学習問題を設定し、学習計画を立てができる。

(2) 1時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法と【評価規準】
導入	1 前単元の学習を振り返り、当時の世の中の様子を想起し、本時のめあてを確認する。	◇年表「室町の文化が生まれたころのできごと」を基に、本時の学習課題につなげることができるようする。	
	京都の室町に幕府が置かれた頃のできごとを整理して学習問題を設定し、学習の見通しをもとる。		
展開	2 絵画や写真などの資料を見て気付いたことを話し合い、学習問題を設定する。	◇「洛中洛外図屏風」と「祇園祭山鉢巡行」の写真などの資料を提示し、関連付けることで当時の文化が現在にも受け継がれていることを確認できるようする。 【学習問題】京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化には、どのような特色があるのだろうか。	指導に生かす評価 発言内容から「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問い合わせをしているか」を評価する。 【思-①】
	3 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。	◇既習事項である貴族の生活や文化の学習を基に、「世の中の様子」「人物の働き」「代表的な文化遺産」に着目し、次時からの調べていく事柄について見通しをもつことができるようする。 ◇和室、茶の湯、生け花など、他教科等での学びを想起し、つながりを感じながら学ぶことができるようする。 ◇学級全体で話し合い、友達の考えを学習計画に生かすことができるようする。	記録に残す評価 ワークシートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】
終末	4 本時の学習を振り返る。	◇本時の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動などについて振り返りを行い、次時からの学習へつなげることができるようする。	

6 1時の評価規準及び判断のポイントと指導の手立て

評価方法と【評価規準】	指導の手立て(●)
指導に生かす評価 発言内容から「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問い合わせをしているか」を評価する。 【思-①】	「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●資料や既習事項を基に、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目するよう問い合わせたり、ほかの児童の発言内容を参考にできるようにしたりして、問い合わせができるようする。
評価方法と【評価規準】	判断のポイント(◎)と指導の手立て(●)
記録に残す評価 ワークシートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ◎学習問題の追究・解決に向けて世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などの複数の視点に着目して学習計画を立て、解決の見通しを具体的にもっている。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●既習事項である貴族の生活や文化の学習と比較したり、友達の考えを参考にしたりして、解決の見通しをもつができるようする。

7 2・3時について（2・3／4）

(1) 2・3時の目標

学習計画を基に、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて調べることを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解することができる。

(2) 2・3時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法と【評価規準】
導入	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	<p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について、学習計画を基に調べる内容や方法を確認できるようにする。</p> <p>◇児童の前時の振り返りを紹介し、調べる内容や方法を価値付けすることで、ほかの児童が自身の学習計画に生かすことができるようする。</p>	
	京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について、学習計画を基に調べよう。		
展開	<p>2 代表的な建造物や絵画などの資料を基に、京都の室町に幕府が置かれた頃の文化の様子について調べる。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金閣、銀閣 ・天橋立図、秋冬山水図 ・能、狂言、茶の湯、生け花、田楽 	<p>◇それぞれの児童が立てた学習計画を基に、資料で調べたことをワークシートにまとめるようする。</p> <p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃の建造物や絵画、今に受け継がれている習慣や芸能などについて調べたことを、比較・分類したり関連付けたりしながらまとめたことについて、価値付けていく。</p> <p>◇既習事項である貴族の生活や文化の学習と比較・分類しながらまとめたことについて、価値付けていく。</p> <p>◇和室、茶の湯、生け花など、他教科等での学びと関連付けながらまとめたことについて、価値付けていく。</p> <p>◇友達と話し合うことで、調べたことを確認したり、調べることを追加したりすることができるようする。</p>	<p>指導に生かす評価</p> <p>ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【知-①】</p>
終末	3 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	◇本時の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動、これから調べていくことや調べ方などについて振り返りを行い、次時の学習へつなげることができるようする。	

8 2・3時の評価規準及び指導の手立て

評価方法と【評価規準】	指導の手立て(●)
<p>指導に生かす評価</p> <p>ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について理解しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【知-①】</p>	<p>「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調べる内容や方法が、学習計画に基づいているか確認できるようする。 ●前時の友達の振り返りを参考に、調べる内容や方法を検討することができるようする。 ●既習事項である貴族の生活や文化の学習と比較したり、友達の考えを参考にしたりすることができるようする。

9 4時について（4／4）

（1）4時の目標

調べたことを関連図としてまとめ、学習問題について話し合うを通して、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解することができる。

（2）4時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法と【評価規準】
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	◇ワークシートに記述した内容を確認し、本時の学習の見通しをもつことができるようとする。 調べたことを基に、京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色についてまとめよう。	
展開	2 調べたことを比較・分類して関連図にまとめ、それを基に話し合う。	◇調べたことを比較・分類して整理し、関連図としてまとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化の特色について考えることができるようとする。 ・和風建築への継承 ・現在も人々に親しまれている習慣や芸能 ・様々な立場の人が文化に関わっている様子 ◇学級全体で話し合うことで、考えを深めることができるようとする。	記録に残す評価 関連図の内容から、「この頃の文化の特色を考え、適切に表現しているか」を評価する。 【思-②】
終末	3 学習問題に対する自分の考えをワークシートにまとめる。 【学習のまとめ】京都の室町に幕府が置かれた頃に生まれた文化は、今日の生活文化につながっているという特色がある。	◇学習問題について学級全体で話し合ったことを基に、考えを文にまとめることができるようとする。	記録に残す評価 ワークシートの記述内容から「今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解しているか」を評価する。 【知-②】
	4 本単元の学習を振り返る。	◇これまでの学習と関連付けながら考えることを価値付けする。 ◇本単元の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動などについて振り返りを行い、次単元の学習へつなげができるようとする。	

10 4時の評価規準及び判断のポイントと指導の手立て

評価方法と【評価規準】	判断のポイント(◎)と指導の手立て(●)
記録に残す評価 関連図の内容から、「この頃の文化の特色を考え、適切に表現しているか」を評価する。 【思-②】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ◎学習したことを基に、この頃の文化の特色を考えることに加え、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを様々な立場の人が文化に関わっているといった観点などで考え、適切に表現することができている。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●これまで学習してきたことを振り返ったり、友達の考えを参考にしたりして表現することができるようとする。
記録に残す評価 ワークシートの記述内容から「今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解しているか」を評価する。 【知-②】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ◎今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解していることに加え、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを様々な立場の人が文化に関わっているといった観点などで具体的に記述している。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●関連図に整理したことを振り返ったり、友達の考えを参考にしたりして理解することができるようとする。